

各 位

フィデアホールディングス株式会社  
株式会社 荘内銀行  
株式会社 北都銀行

## 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（平成 26 年度 中間期）決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアHD」）は、平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（平成 26 年度 中間期）の連結業績と株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：齊藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績等につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

### 1. フィデアHD

#### (1) 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）連結業績

好調な業容拡大を背景に、有価証券ポートフォリオマネジメントの奏功や与信関連費用の減少から、第 2 四半期の経常利益及び中間純利益は、過去最高益を更新。有価証券売却益の減少から経常収益は減益となったものの、資金利益の積み上げ等により、業務純益、コア業務純益を含め前年同期比増益。

コア業務粗利益経費率（OHR）は、前年同期比 0.83 ポイント改善し 75.43%。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金、法人預金が増加し、前年同期末比 621 億円（2.6%）増加の 2 兆 4,450 億円。貸出金残高は、個人ローン、地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 829 億円（5.1%）増加の 1 兆 6,985 億円。

連結自己資本比率は、内部留保の積み上げにより、前年同期末比 0.63 ポイント上昇し 9.24%（速報値）。

2 行合算（単体）の金融再生法開示債権比率は、前年同期末比 0.06 ポイント上昇し 2.67%。

		番号	フィデアHD	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
損 益	経常収益	(1)	25,174 百万円	25,429 百万円	△ 254 百万円	△ 1.0 %	
	業務純益	(2)	5,934 百万円	4,857 百万円	1,076 百万円	22.1 %	
	コア業務純益*1	(3)	4,822 百万円	4,476 百万円	345 百万円	7.7 %	
	経常利益	(4)	5,799 百万円	5,200 百万円	598 百万円	11.5 %	
	中間純利益	(5)	5,007 百万円	3,178 百万円	1,829 百万円	57.5 %	
【連結】	経 営 効 率	(6)	75.43 %	76.26 %	△ 0.83 ㊦		
主要勘定残高 ( 末 残 )	総資産	(7)	27,139 億円	25,663 億円	1,475 億円	5.7 %	
	預金等(譲渡性預金を含む)	(8)	24,450 億円	23,828 億円	621 億円	2.6 %	
	貸出金	(9)	16,985 億円	16,155 億円	829 億円	5.1 %	
	有価証券	(10)	9,051 億円	8,288 億円	763 億円	9.2 %	
自己資本比率	自己資本比率*2(速報値)	(11)	9.24 %	8.61 %	0.63 ㊦		
【合算】	不良債権	金融再生法開示債権額	(12)	46,557 百万円	43,299 百万円	3,257 百万円	7.5 %
		総与信に占める割合	(13)	2.67 %	2.61 %	0.06 ㊦	
		与信関係費用	(14)	486 百万円	877 百万円	△ 390 百万円	△ 44.5 %

\*1コア業務純益 = 業務純益 - 国債等債券損益(5勘定戻) + 一般貸倒引当金純繰入額 \*2自己資本比率の前年同期末は旧基準による。(以下、同様。)

#### (2) 平成 27 年 3 月期（平成 26 年度）連結業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、経常利益は当初予想比 6 億円増益の 96 億円（前期比 5 億 65 百万円減益）、当期純利益は当初予想比 5 億円増益の 70 億円（前期比 7 億 79 百万円増益）と上方修正しております。

		番号	通期		
				前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経 常 利 益	(15)	9,600 百万円	△ 565 百万円	△ 5.5 %
	当 期 純 利 益	(16)	7,000 百万円	779 百万円	12.5 %

※平成 27 年 3 月期の配当については、普通株式 1 株当たり 5 円の期末配当を計画（年間 5 円）

(次ページへ)



## 2. 荘内銀行

### (1) 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は有価証券利息配当金の増加等により資金運用収益が増加したものの、有価証券売却益が減少したことを主因として前年同期比減収。業務純益、コア業務純益、経常利益、中間純利益は、資金利益や預かり資産関連の役務取引等利益の増加等によりいずれも増益。第 2 四半期の中間純利益としては、過去最高益を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比 601 億円（5.1%）増加の 1 兆 2,378 億円。貸出金残高は個人ローンや地方公共団体向け貸出が増加し、前年同期末比 390 億円（4.4%）増加の 9,085 億円。

単体自己資本比率は、内部留保の積み上げにより前年同期末比 0.85 ポイント上昇して 10.83%（速報値）。金融再生法開示債権比率は、前年同期末比 0.77 ポイント上昇して 2.66%。

			荘内銀行				
			番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益	(17)	12,199 百万円	12,397 百万円	△ 197 百万円	△ 1.5 %
		業務純益	(18)	3,023 百万円	2,321 百万円	702 百万円	30.2 %
		コア業務純益*1	(19)	2,858 百万円	2,350 百万円	508 百万円	21.6 %
		経常利益	(20)	2,967 百万円	2,803 百万円	164 百万円	5.8 %
		中間純利益	(21)	1,906 百万円	1,757 百万円	149 百万円	8.4 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金)	(22)	12,378 億円	11,777 億円	601 億円	5.1 %
		貸出金	(23)	9,085 億円	8,695 億円	390 億円	4.4 %
		有価証券	(24)	4,379 億円	3,605 億円	774 億円	21.4 %
	自己資本比率	自己資本比率*2(速報値)	(25)	10.83 %	9.98 %	0.85 ㊦	
	不良債権	金融再生法開示債権額	(26)	24,704 百万円	16,792 百万円	7,911 百万円	47.1 %
総与信に占める割合		(27)	2.66 %	1.89 %	0.77 ㊦		
与信関係費用		(28)	199 百万円	417 百万円	△ 217 百万円	△ 52.1 %	

### (2) 平成 27 年 3 月期（平成 26 年度）単体業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、経常利益は当初予想比 7 億円増益の 47 億円（前期比 3 億 25 百万円増益）、当期純利益は、当初予想比 3 億 50 百万円増益の 28 億 50 百万円（前期比 2 億 39 百万円増益）と上方修正しております。

			通期		
			番号	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常利益	(29)	4,700 百万円	325 百万円	7.4 %
	当期純利益	(30)	2,850 百万円	239 百万円	9.1 %

(次ページへ)



### 3. 北都銀行

#### (1) 平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（平成 26 年 4 月 1 日～平成 26 年 9 月 30 日）単体業績

経常収益は、有価証券利息配当金の増加を主因に資金運用収益が増加したことなどから前年同期比増収。経常利益及び中間純利益は、資金利益の増加に加え、与信関係費用の減少等により増益。第 2 四半期の経常利益、中間純利益としては、平成 5 年の北都銀行創立以来の最高益を更新。

譲渡性預金を含む預金等残高は、個人預金を中心に増加し、前年同期末比 89 億円（0.7%）増加の 1 兆 2,275 億円。貸出金残高は、法人向け貸出や地方公共団体向け貸出が増加し、前年同期末比 472 億円（6.2%）増加の 8,061 億円。

単体自己資本比率は、内部留保の積み上げにより前年同期末比 1.20 ポイント上昇して 10.47%（速報値）。金融再生法開示債権比率は、前年同期比 0.77 ポイント低下して 2.67%。

		北都銀行				
		番号	前年同期(末)	前年同期(末)比	同増減率	
【単体】	損益	経常収益 (31)	11,693 百万円	11,501 百万円	192 百万円	1.6 %
		業務純益 (32)	2,507 百万円	2,157 百万円	349 百万円	16.2 %
		コア業務純益*1 (33)	1,609 百万円	1,769 百万円	△ 159 百万円	△ 9.0 %
		経常利益 (34)	2,216 百万円	1,825 百万円	390 百万円	21.3 %
		中間純利益 (35)	2,607 百万円	953 百万円	1,654 百万円	173.4 %
	主要勘定残高 (末残)	預金等(含む譲渡性預金) (36)	12,275 億円	12,186 億円	89 億円	0.7 %
		貸出金 (37)	8,061 億円	7,588 億円	472 億円	6.2 %
		有価証券 (38)	4,757 億円	4,768 億円	△ 10 億円	△ 0.2 %
	自己資本比率	自己資本比率*2(速報値) (39)	10.47 %	9.27 %	1.20 ㊦	
	不良債権	金融再生法開示債権額 (40)	21,852 百万円	26,506 百万円	△ 4,653 百万円	△ 17.5 %
		総与信に占める割合 (41)	2.67 %	3.44 %	△ 0.77 ㊦	
		与信関係費用 (42)	287 百万円	460 百万円	△ 173 百万円	△ 37.6 %

#### (2) 平成 27 年 3 月期（平成 26 年度）単体業績予想の上方修正について

当中間期の実績を踏まえ、当期純利益を当初予想比 9 億円増益の 39 億円（前期比 10 億 23 百万円増益）と上方修正しております。経常利益につきましては、当初の業績予想から変更ございません。

		通期			
		番号	前期比	同増減率	
北都銀行(単体)	経常利益 (43)	4,000 百万円	△ 760 百万円	△ 15.9 %	
	当期純利益 (44)	3,900 百万円	1,023 百万円	35.5 %	

以上

#### 【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】

大石 TEL : 022-290-8800  
 フィデアホールディングス IRグループ 佐藤 TEL : 023-626-9006  
 市田 TEL : 018-837-1726

くわしくは、「平成 27 年 3 月期 第 2 四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）」をご参照ください。